

第3学年「国語」学習指導案

授業者 小野澤由美子

2月22日(木) 3階D室 9:00~9:40

1 単元名 「問いをつくって考えよう」—「いのちのおはなし」を読んで—

2 単元について

単元	○問いを作って考えながら、筆者の考える「いのち」について読み取る。
目標	○「いのち」について自分の考えをもつ。

3年になってつがくの授業が始まり、身近なことや当たり前と知っていることに疑問をもち、みんなで話し合い、自分の考えをつくることをしてきた。自分が疑問に思ったことを、他の考えと比べたり、取りこんだりしながら深く考えていく。そうしたつがくの学びは、国語の力をつけていく上での土台ともなると考えている。この単元では、教材文を読み、気づいたことや疑問に思ったことを出し合い、自分たちで考えた問いについて話し合う。筆者である日野原重明氏の「いのちは時間」というキーワードを問い返し、筆者が「いのち」についてどう思っているのかを考えたい。「いのち」についての考えは、学年末の文集に向けて作文にしたいと考えている。3年生の時間をどう過ごしてきたかを振り返り、「時間を使うことは、いのちを使うこと」の意味を子どもたちなりに考え、4年生に向かって自分の成長を見つめるきっかけにしたいと考えている。

本学級の子どもたちは、一つの教材に入るとそれについての情報交換を盛んに行う。今回も日野原先生の名言や、お人柄、著書などについてみんなで共有している。話し合いの前提になることをなるべく多く共有し、その上で、考えの違いをわかろうとことばをつむぐ中に学び合いが生まれると考えている。

3 学習指導計画(4時間目/全4時間)

- (1) 「いのちのおはなし」を読み、みんなで考える問いを何にするかを話し合う。 (1時間)
- (2) ファミリーで問いを選び、その問いについて話し合う。 (1時間)
- (3) ファミリーで話し合った問いを全体で共有する。 (1時間)
- (4) 「いのち」について話し合う。 (1時間) 本時

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

「いのち」について自分の考えをもつ。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1. 前時の話し合いを思い起こし、筆者の「いのち」に対する考えを確かめる。	・ 筆者の「いのち」に対する考えをまとめておく。
2. 「いのち」について話し合う。	・ 「いのちを大切に使うとはどうすることか」を考える。
3. みんなの考えを聴いてなるほどと思ったことを書く。	・ 書いたものを何人か発表する ・ 付箋に書く